

彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを成功させてくださるのを見た。」「主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったからである。」(3、23節)

今回白馬スネルゴイキャンプに行くことが出来て感謝します。行く前に入院しなければ命が危ないと言われていた方が、礼拝だけは守って入院しますと言ったことで、医者から自分の責任であることを一筆書かされて再び病院に行くと、完全に癒され、白馬にも来て奉仕しておられました！多くのしるしと不思議、奇蹟の証しをお聞きし触れました！

今日はヨセフの物語です。彼の人生には多くの苦難がありました。父ヤコブから偏愛されたこと、彼が見た夢を語ったことで、兄たちは彼を妬み、憎み殺そうと企みましたが、神様の愛のご配慮のみ手によって彼は守られエジプトに売られてゆきました。

パロの廷臣、その侍従長ポティファルが彼を買い取りました。主がヨセフとともにおられたので、彼は幸運な人となり～そして主が彼と共におられたので、主が彼のことすべてを成功させてくださるのを見たのです。しかし、彼が体格もよく、美男子であった為、ポティファルの妻が彼を誘惑しましたが、それを断った為、監獄に入れられてしまいます。試練に続く試練です。そこでも神は監獄の長に働いて、その監獄にいるすべての囚人をヨセフの手にゆだね、管理を任せましたそれは、主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったからである。とあります。彼はどんな時にも、彼の見た夢を放さなかったでしょう。その夢は神のことばであり、預言であり、彼のビジョンでした。

今回白馬スネルゴイキャンプで、多くの語り掛けを頂きました。その中で、エジプトで奴隷として働かせられていたヘブル人（イスラエル人）は400年間ただじっと我慢していたのではない。彼等はその苦しみの中で“祈った”のです。その祈りの蓄積が、神の時が来た時、10の災害によってイスラエルの民が解放されるという奇蹟を起こし、紅海を打ち割る奇蹟を起こしたのだと。ヨセフも、ただ夢を手放さなただけではなく、試練にあえばあうほど祈ったでしょう！その祈りが、いざ時が来て監獄から出される時、いっきにパロ王の総理大臣とされるという奇蹟を呼び起こしたのです。まさに逆転の勝利です。ハレルヤ！ 祈りがまだ聞かれていない…神は愛のお方なのにどうなっているの？色々な思いが来るかもしれません。しかし神の時は必ず来るのです。神のことばをもう一度確認し、感謝して祈り続けましょう。答えを頂くまで、栄光を見るまで信じ祈り続けてゆきましょう。人間的には弱い愚かな、選ばれる何の価値もない私達ですが、私達もまたヨセフとして選ばれているのです。一方的な選びによってこの時代に果たすべき役割があります。

今回も埼玉5つの教会代表として参加し、それぞれの役割を果たしました。5か月後夏の白馬キャンプには皆様も共に行けるように今から祈り、この祝福を共に味わいましょう！



Siloam

【シロアム：遣わされた者】

2015.2.22 No.829

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34 : 10

